

論文においては、自分の見解と他者の見解とを峻別するのは基本中の基本である。自分自身の分析・見解の部分と他者の分析・見解に依拠した部分との区別が不明確なものは、論文としては認められない。従って、他者の著作の一部分をそのまま写し（インターネット上のウェブサイトの文章のコピー&ペーストも含む）、自分が創作した文章のごとく装うことは論外であり、厳しく禁じられる。

要するに、論文の中で他者の見解を引用した場合には、必ずその旨を明記しなければならない（引用の仕方の詳細については「論文執筆の手引き」を参照のこと）。これは、他者の見解を自分の言葉でまとめ直した場合でも同様である。

論文作成にあたっては、「論文執筆の手引き」にある参考文献や引用文献の表記法に従うことはもちろん、引用等に関しては以下の諸点に特に注意を払うこと。（以下の諸点について執筆者自身で論文を点検の上、問題がなければ各チェック欄にチェックを入れること。全て問題がなければ、署名の上、本紙を論文と一緒に提出すること。）

- 他者の著作（インターネット上のウェブサイトも含む）の一部分を引用であることを明記せず、そのまま（あるいはわずかな改変のまま）写した部分がない。
- 他者の文献における記述をそのまま引用した箇所については、原文を正確に写し、その引用部分をかぎカッコ「」でくくって明示している。そして、引用元文献とその該当ページも明示している。
- 他者の文献の記述を直接の引用ではなく自分の言葉でまとめ直した箇所については、そのことを文中で断った上で、参照した文献とその該当ページを脚注等で明示している。
- 他者の記述を自分の言葉でまとめ直した箇所でも、当該部分が執筆者の見解の部分と他者の見解の部分とに明確に区別されている。
- インターネット上のウェブサイトについては、参照したサイトの URL と最終アクセス日を明示している。
- 引用した文献や参照した文献のリストを論文末で正確かつ統一的な形式で明示している。
- 図表類については、本やウェブサイトなどから二次的に引用した場合も含め、元データの出所を明示している。
- 生成AIが出力した文章を、そのまま自らが作成したものとして使用していない。

提出論文については、以上の諸点につき問題がないことを誓います。

論文執筆者氏名（共同執筆の場合は執筆者全員）： _____

